

特集



もうすぐゴールデンウィーク。お休みの過ごし方はもう決まりましたか？どこに行こう、何をしよう…と迷っているなら、ぜひこの特集をらんくください。遠出するのもよいけれど、渋滞に巻き込まれて疲れてしまうのがオチ。富士市内にも、十分楽しめる場所がいくつかあるんですよ。その中から、「広見公園と歴史民俗資料館」をご紹介します。

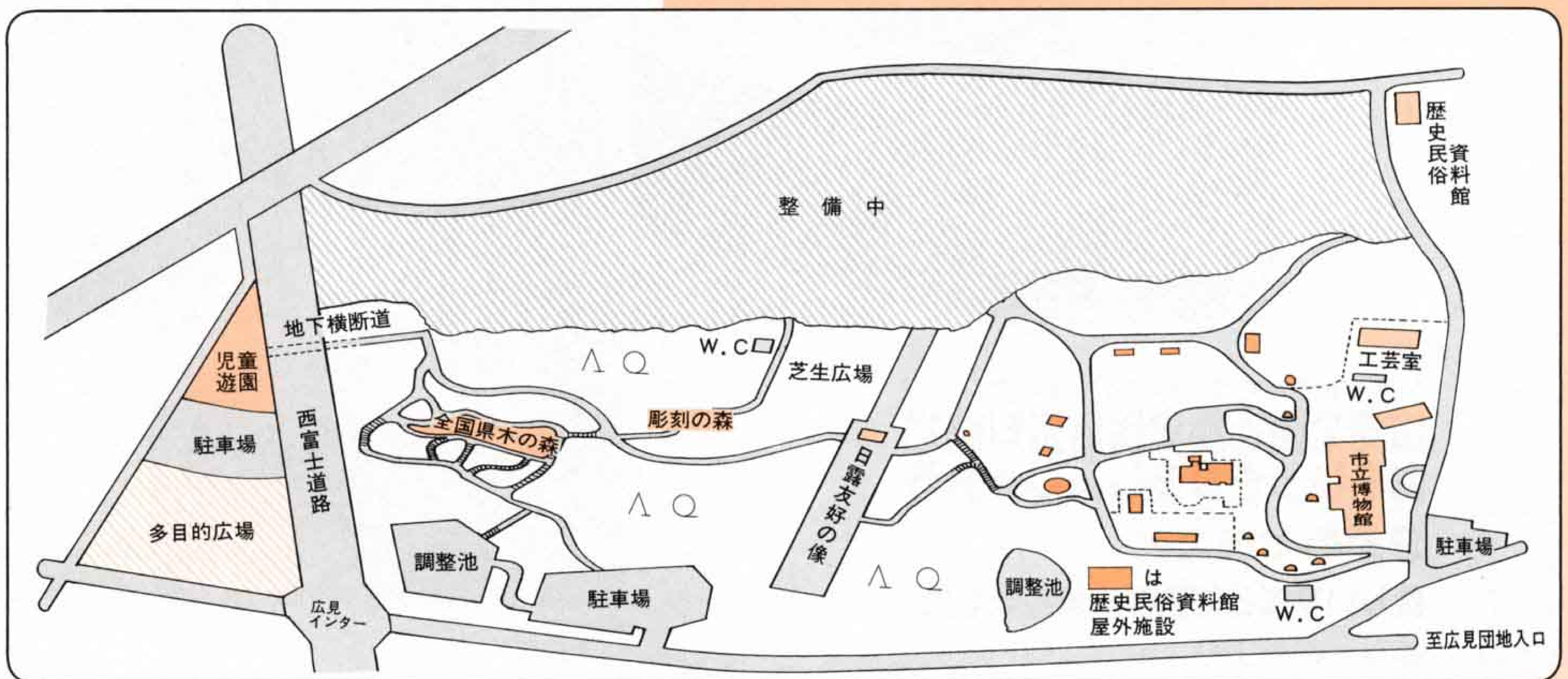
広見公園と 歴史民俗資料館で おもいっきり 楽しんじゃおう

広見公園は、旧吉原市・旧富士市・旧鷹岡町合併の記念公園として、「ふるさと村」をイメージして整備されている、富士市を代表する総合公園です。合併三十周年に当たる平成八年度の完成に向けて、急ピッチで整備を進めています。

この公園の緑あふれる広大な土地には、芝生広場や多目的広場、彫刻の森、全国県木の森、歴史民俗資料館の屋外施設などがある。自然とたっぷり親しみながら楽しめます。また、公園内には博物館もあり、公園の北側に昨年オープンした歴史民俗資料館とあわせて、屋内で富士市の歴史にじっくりふれることができます。ですから、アウトドア派のあなたにも、インドア派のあなたにもお勧めの場所。今回は、見どころをアウトドアとインドアに分けてご紹介します。

家族連れで広場で遊ぶのもいいし、一人で歴史を勉強するのもよし、カップルで森林浴をするのもいいし、目的は何でも…。広見公園と歴史民俗資料館で、思い切り楽しんでください。

案内図





▲日本とロシアの友好の像「プチャーチン提督と日本の漁夫」 この像は、1855年に三四軒屋沖で沈没したロシア軍艦ディアナ号の乗組員と、彼らを救出した地元漁民との友愛の歴史を残そうと、ロシアのライキスさんから贈られたもの。見晴らしのよい場所にあります。



◀▶児童遊園 4月1日にオープンしたばかりの幼児の遊び場。公園の西端に位置し、砂場やジャングルジムなどがあり、子供連れにはピッタリ。



▲石川さん(久沢)とお孫さん

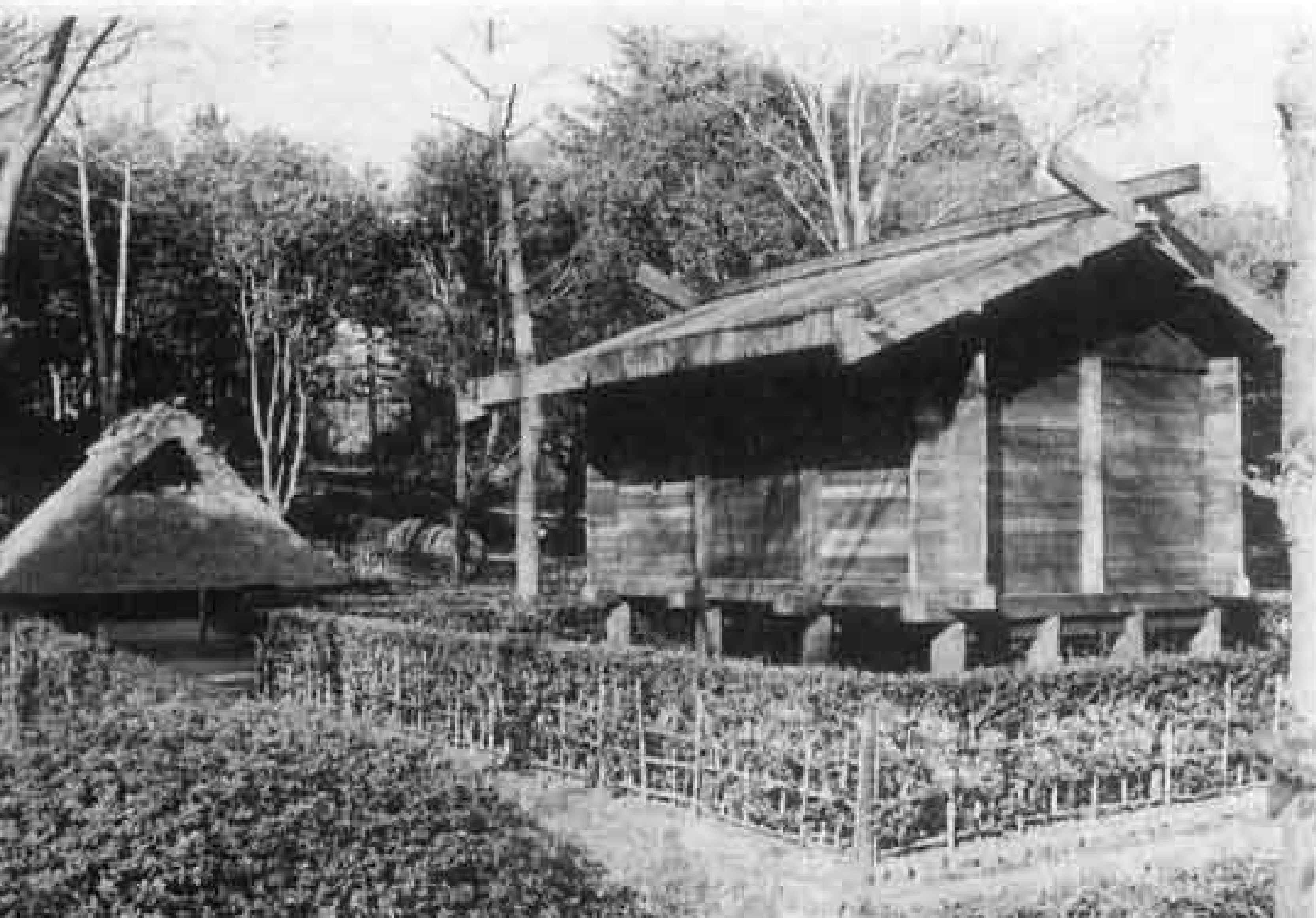
「この木製の遊具は、木の感触がとても気持ちいいし、滑り台もついていておもしろいです。子供が気軽に遊べますから、また来たいですね。」

▶全国県木の森 47都道府県の木が楽しめます。日本全国の木を眺めながら散歩してみるのもいいかも。



歴史民俗資料館屋外施設

ひがしだらい せまたてあな たかゆか
▼東平遺跡竪穴住居(左)と高床倉庫
8～9世紀の伝法周辺の住居を復元。



歴史民俗資料館の屋外施設は、富士市内に残された文化財を大切に保存し、後世に伝えていこうと、貴重な建物や道しるべなどを移築したり、昔の住居などを復元したりしたものです。六世紀後半につくられたと考えられる横沢古墳や、江戸時代に建てられた旧松永家住宅など、十四種類の文化財が楽しめます。



ちょうほうかん
▲眺峰館 3階建て正八角形、避雷針付きのトタン屋根。ハイカラな建物でひととき目立ちます。料理店の玄関部分だったものを移築したものです。

市立博物館



博物館は、「富士に生きる 紙のまちの歴史と文化」をテーマに、郷土の歴史や文化を知ってもらおうと昭和五十六年に開館しました。ここでは、郷土の縄文時代から現代までの歩みを、音声や模型などを取り入れてわかりやすく展示してあります。また、富士市の代表的な地場産業である製紙をテーマとした「紙の展示室」もあります。そこでは、手すき和紙の用具や近代的な製紙機械の模型などが展示してあり、製紙業の成り立ちを紹介しています。



歴史民俗資料館



歴史民俗資料館は、博物館の分館として昨年十一月に開館したばかりの施設です。この資料館では、昭和初期ごろ富士に生きた人々の暮らし(民俗)を、①ハマのくらし、②ドブツタのあるくらし、③タバシヨのくらし、④ヤマガのくらし、⑤人と物の行き来、の五コーナーに分けて紹介。展示物は近くで見られるようオープン展示となっています。また、体験コーナーもあり、機織る、しよいこで荷物を背負うなど、昔の人々の暮らしを体験できます。



▲①ハマのくらし シラス船や桜エビのゆで釜など、地びき網漁やシラス漁を営んでいたハマに住む人々の暮らしを展示



▲②ドブツタのあるくらし 浮島ヶ原の湿地帯を開拓した水田(ドブツタ)で、苦勞して米づくりをしている様子を展示

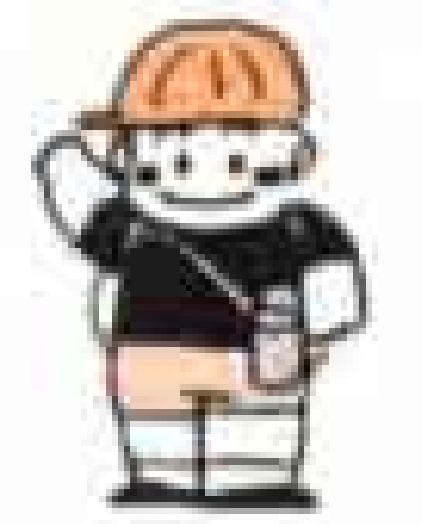


▶③タバシヨのくらし 加島五千石と言われた、加島平野の水田地帯(タバシヨ)に住む人々の暮らしを展示

博物館は主に考古学的・歴史的なもの、歴史民俗資料館は民俗的なもの、そして屋外施設として昔の家屋や古墳などを展示しています。ですから、ぜひ三つあわせて見ていただいで、富士市の歴史と文化をたっぷり味わっていただきたいですね。中でも歴史民俗資料館は、昔懐かしいおもちゃで遊ぶコーナーや、ナンバという田げたで湿地を歩くコーナーなどがあり、十分楽しめると思います。

市立博物館 荻野裕子学芸員





お知らせ

★ふるさと村ウオッチングと博物館無料公開

- と き 4月29日(土) 10:00~
 ところ 歴史民俗資料館(屋外・屋内施設)、市立博物館
- 内 容
- ふるさと村ウオッチング
 - ふるさと村クイズラリー
 - 手すき和紙づくりの体験
 - 禮文窯陶器市と樂焼コーナーれいぶんよう
 - 型染かたぞめの体験と即売
 - 機織りはた体験 ほか

★市立博物館企画展「富士山信仰と富士塚」

日本人と「信仰の山・富士山」との歴史的なつながりを集。と き 5月21日(日)まで

★富士山ネットワークスタンプラリー

富士山周辺の5ヵ所の博物館を全部回って、プレゼントをもらおう。
 と き 4月22日(土)~5月7日(日)
 ところ 富士市立博物館
 富士美術館(富士宮市)
 奇石博物館(富士宮市)
 富士山資料館(裾野市)
 富士山御胎内清宏園(御殿場市)

市立博物館と歴史民俗資料館の

利用案内

- 開館時間
 (4~10月) 9:00~17:00
 (11~3月) 9:00~16:30
- 休館日
 月曜日(祝日は開館)
 祝日の翌日
 12月28日~翌年1月4日
 ※5月の休館日は、
 1日、2日、6日、8~10日、
 15日、22日、29日です
- 博物館入館料
 大人 100円、小・中学生 50円
 ※歴史民俗資料館は無料です



伝法小学校4年

岡田真実まさみさん(右)
 小林理恵りえさん

私たちは、社会科の授業で、「一万歩コース」里コース」について勉強しています。きょうは、そのコース内に博物館があることから、博物館にどんな物が展示してあるかを調べに来ました。来るのは今回で二回目ですが、昔の紙のつくり方について、写真や模型で詳しく説明してあってわかりやすいですね。とても勉強になります。



▲⑤人と物の行き来 物々交換や行商などで行き来する様子を展示

▶④ヤマガのくらし ヤマガと呼ばれた、畑と山林が広がっている地域の暮らしを展示



体験コーナー



◀昔のおもちゃで遊ぶ



▲湿田を歩く

▶機を織る



広見公園の整備に関する問い合わせは…

市立博物館、歴史民俗資料館に関する問い合わせは…

みどりの課 51-0123
内線2663

市立博物館 21-3380